

# 冬の水鳥ウォッチング



間近で水鳥を観られる



昆陽池は多くの種類の水鳥がたくさん集まる近畿でも貴重な所



昆陽池は奈良時代(西暦 730 年頃)の僧、行基が洪水調節と灌漑用に造ったとされています。

瀬戸内周辺は降水量が少なく、昔から水田用ため池がたくさん作られたが戦後は工業や都市開発が盛んになり、ため池の多くが埋め立てられました。昆陽池も 1970 年頃からその 3 分の 2 が埋め立てられ、今は 3 分の 1 が池を囲む公園として残されているだけになりました。それでも、もともと日本に暮らす鳥(留鳥)や渡り鳥にとって昆陽池は羽を休める貴重な場所になっています。

特に冬は、遠くシベリアなどから渡ってくる冬鳥たちがたくさん集まります。そのようすをゆっくり観察しながら「渡り」の不思議などを考えてみましょう。

**日 時**：2020年1月12日(日) 12時～(15時頃解散の予定)

昆陽池センターで弁当を食べながら始めます。

**場 所**：伊丹市 昆陽池公園

**集 合**：公園内「昆陽池センター」伊丹市バス「松ヶ丘」下車すぐ

(JR 伊丹・阪急伊丹両駅前 4 番のりばから⑩系統

松ヶ丘経由西野武庫川センター前行乗車 10 数分)

**内 容**：冬の昆陽池に訪れる水鳥たちの観察。幼児でも歩けます。

**講 師**：森山康浩(子ども情報研究センター代表理事)

**持ち物**：防寒着・歩きやすい靴・帽子・手袋(くれぐれも暖かい服装で)・メモ帳・弁当・水筒。

あれば双眼鏡・鳥の図鑑。 ※荷物はリュック1つにまとめると便利

**参加費**：一般 1,000 円(個人正会員 500 円) 18 歳以下は無料 ※保険代含む

**申込み**：先着 30 名 12/26(木)まで

※裏面の参加申込書を子ども情報研究センターまで FAX 又はメールください。

**その他**：詳細は改めて後日(1/7 頃)、参加者にお知らせします。



◆お申し込み・お問い合わせは、子ども情報研究センター事務局まで◆

〒552-0001 大阪市港区波除 4-1-37 HRCビル5階

TEL：06-4708-7087 FAX：06-4394-8501 E-mail：[info@kojoken.jp](mailto:info@kojoken.jp)